



私の口で?



食べさせてくれ?

直接?



モグ

モグ

すぐ戻った?



カウカウ

警察呼びに行くんじゃないかねえよね?



...

...



うんぐう

ふぶつつ

れべ
へぶっ

...

...





赤



おおっ
ちゅべろっ
はぐっ

うんっ
うん♡
ちゅぽっ♡

うんおおおー

♡♡♡

♡♡♡



うんふっ



ちゅっ

ちゅっ
おほおっ



うん? うんうん!



ちゅっ



うんおほおっ



ちゅっ

ぐっ

ぐり



どっさ
ッ

キスだけで汗まみれになって
床で倒れてる雪ノ下雪乃なんて
想像すらできなかった

あんなに汗を流して、
脱水が心配だな
... 仕方ないね





雪ノ下の口に入った水を俺が飲みたい衝動を抑えて上手く体を刺激して飲ませた。

結果、彼女の口に水が淀んだ

まだ余力があったか激く抵抗したので口の中に水を入れるのも大膽だった。せっかく入った水も飲まなかった。

うんおつ?!
うんぎっ
あぁあぁん

ふおお?!

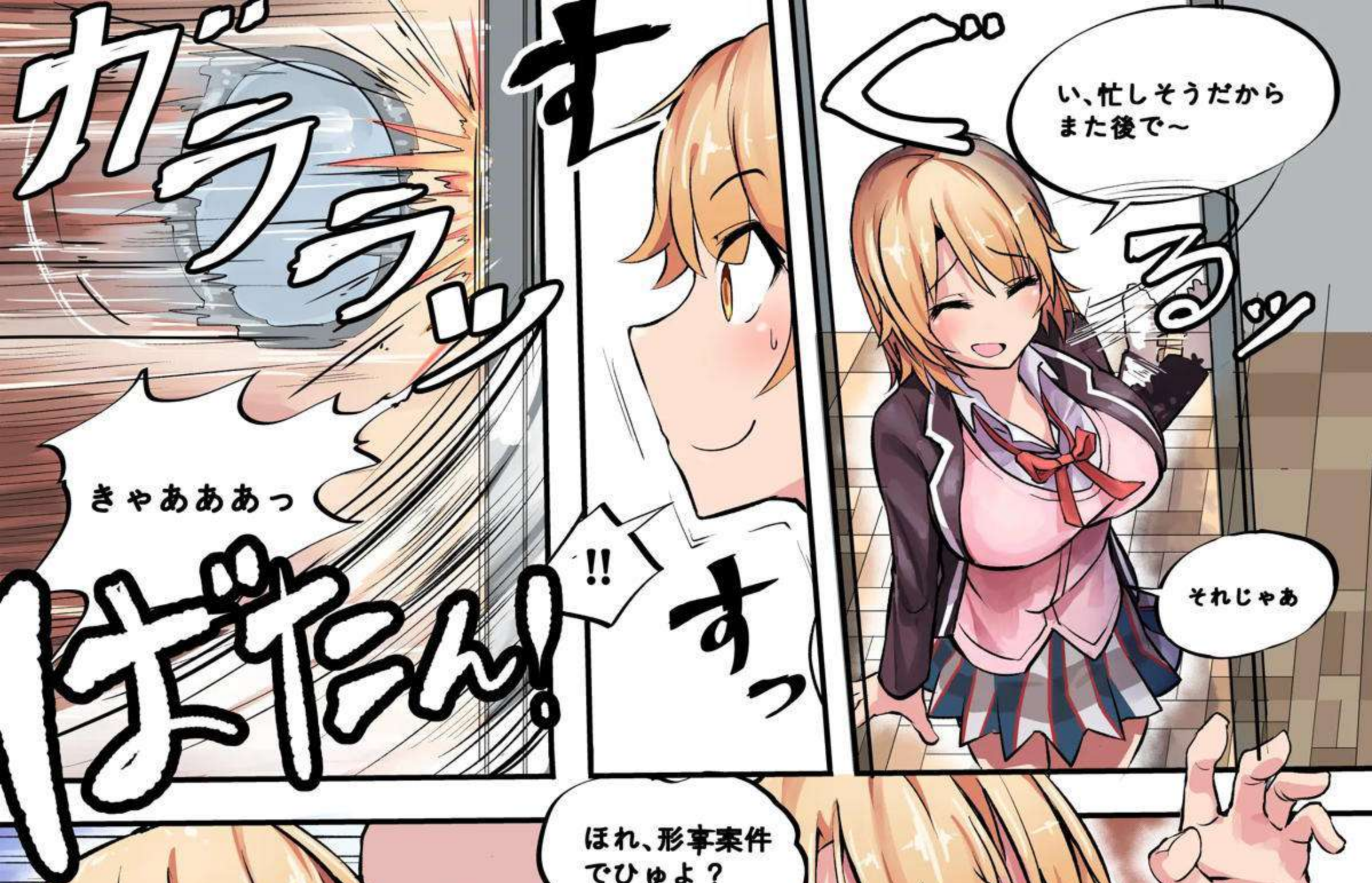


激しい抵抗でびしょびしょになった雪ノ下の体は俺が直接舐めて掃除してあげた。

今度は無抵抗でつまら...じゃあなく心配でおまんこを刺激したらそこしずつ体を痙攣させてきた



そ
して
...



い、忙しそうだから
また後で〜

それじゃあ

きゃあああっ

!!

ほれ、形事案件
でひゅよ？

おほおっ

じよ、
冗談
でひゅね？





ちゅら♡
ちゅる♡

激しく押し出そうとする
一色の舌を巻き上げ
吸いつづいたら
まもなく、部屋は甘い嬌声と
ぬれた肉がぶつつかる音で
埋められた

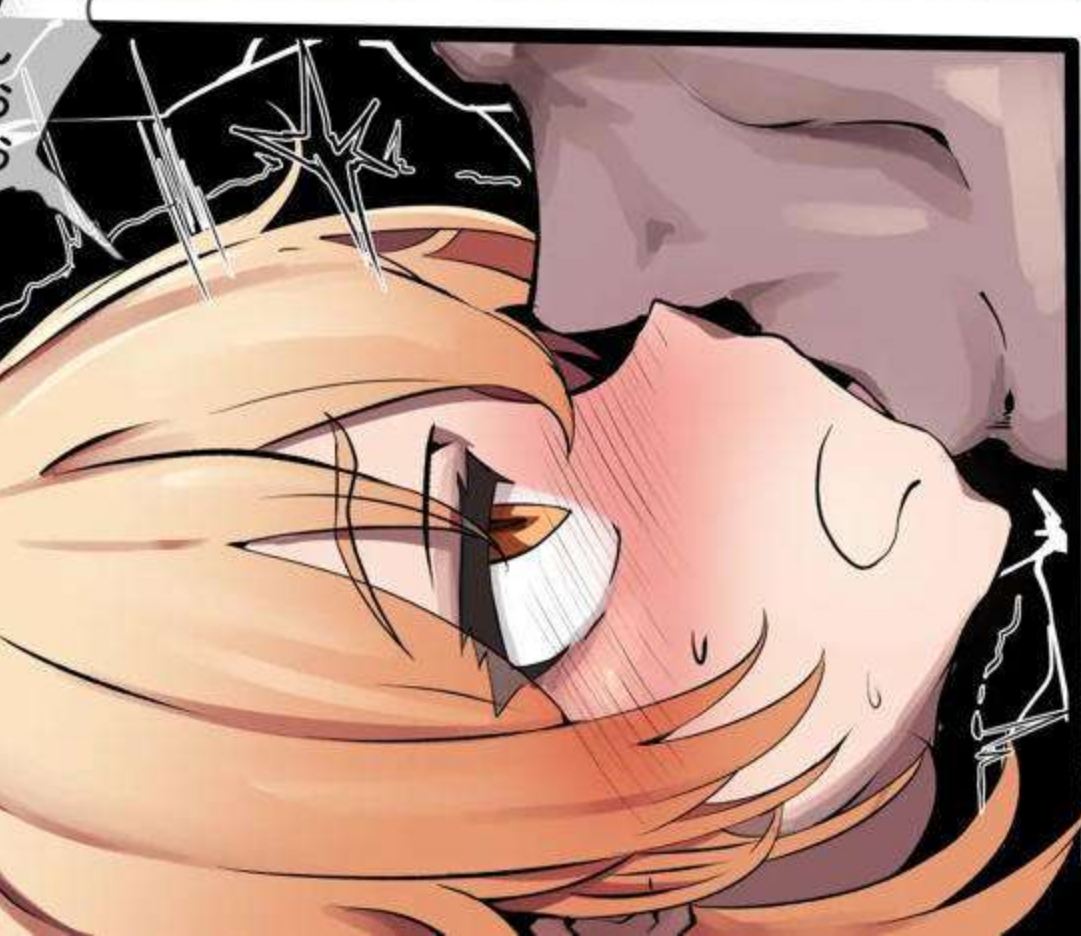
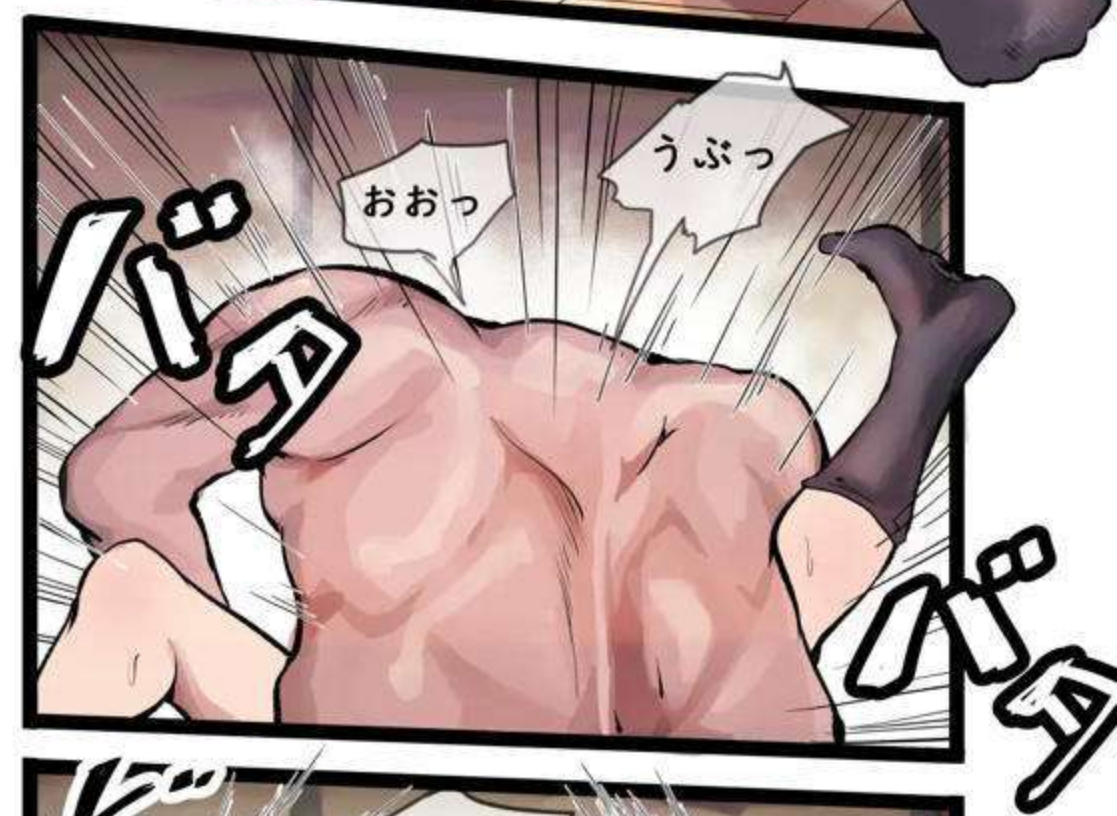
雪ノ下とは違う、
シャツに隠された胸を
塾した果实皮を
はぐように



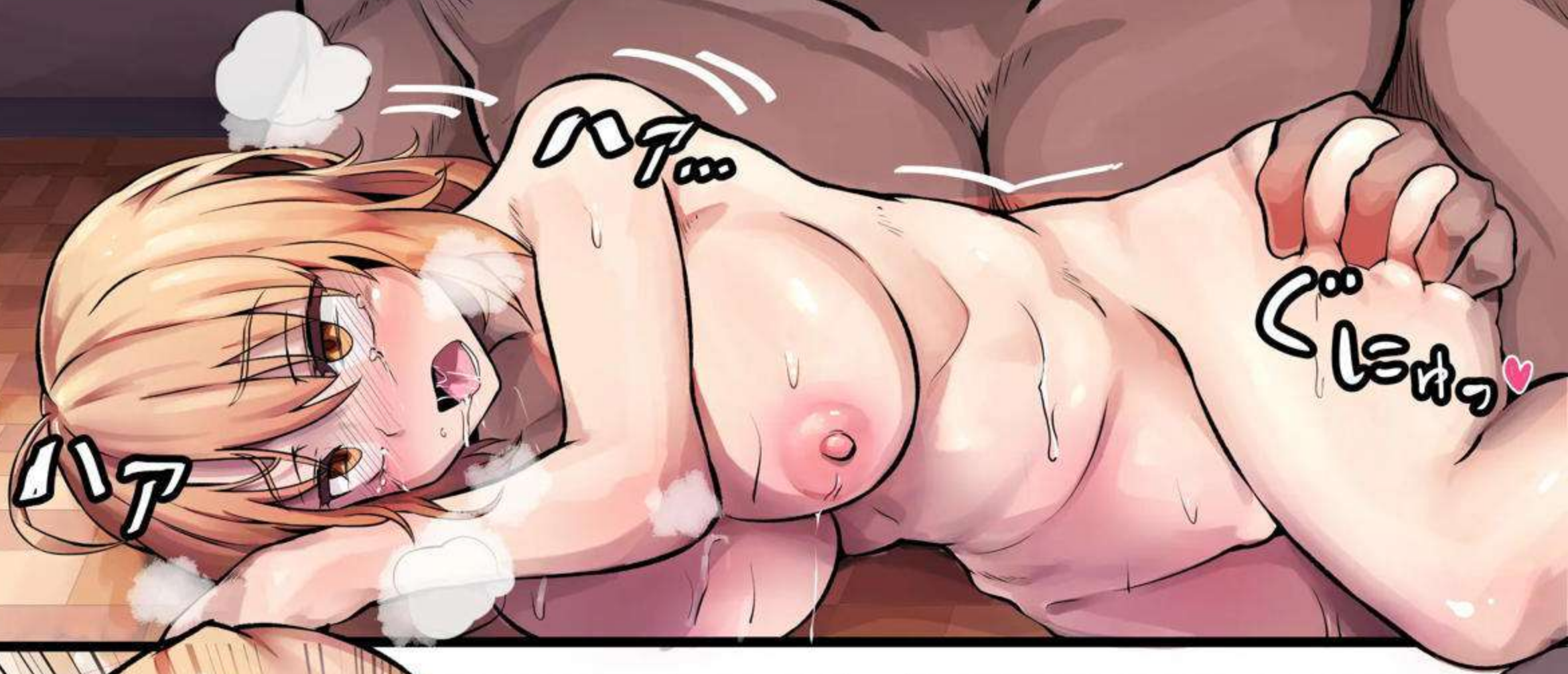
沸き起こる嬌声、
つるんとした胸と共に
閉じた口が開けられて
現れた一色の舌を
乳首を吸うように蹂躪した

おおっ

はうっ

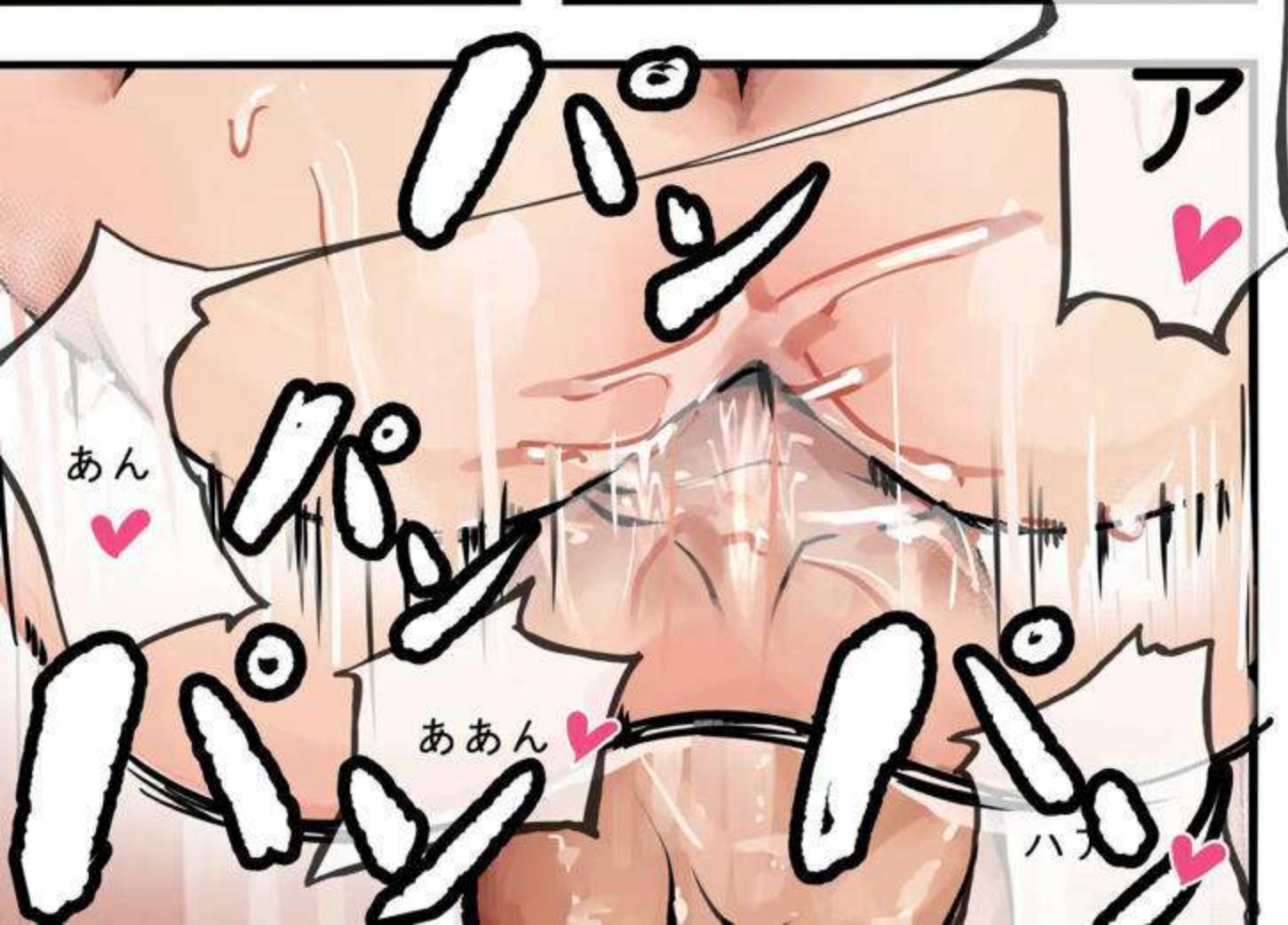


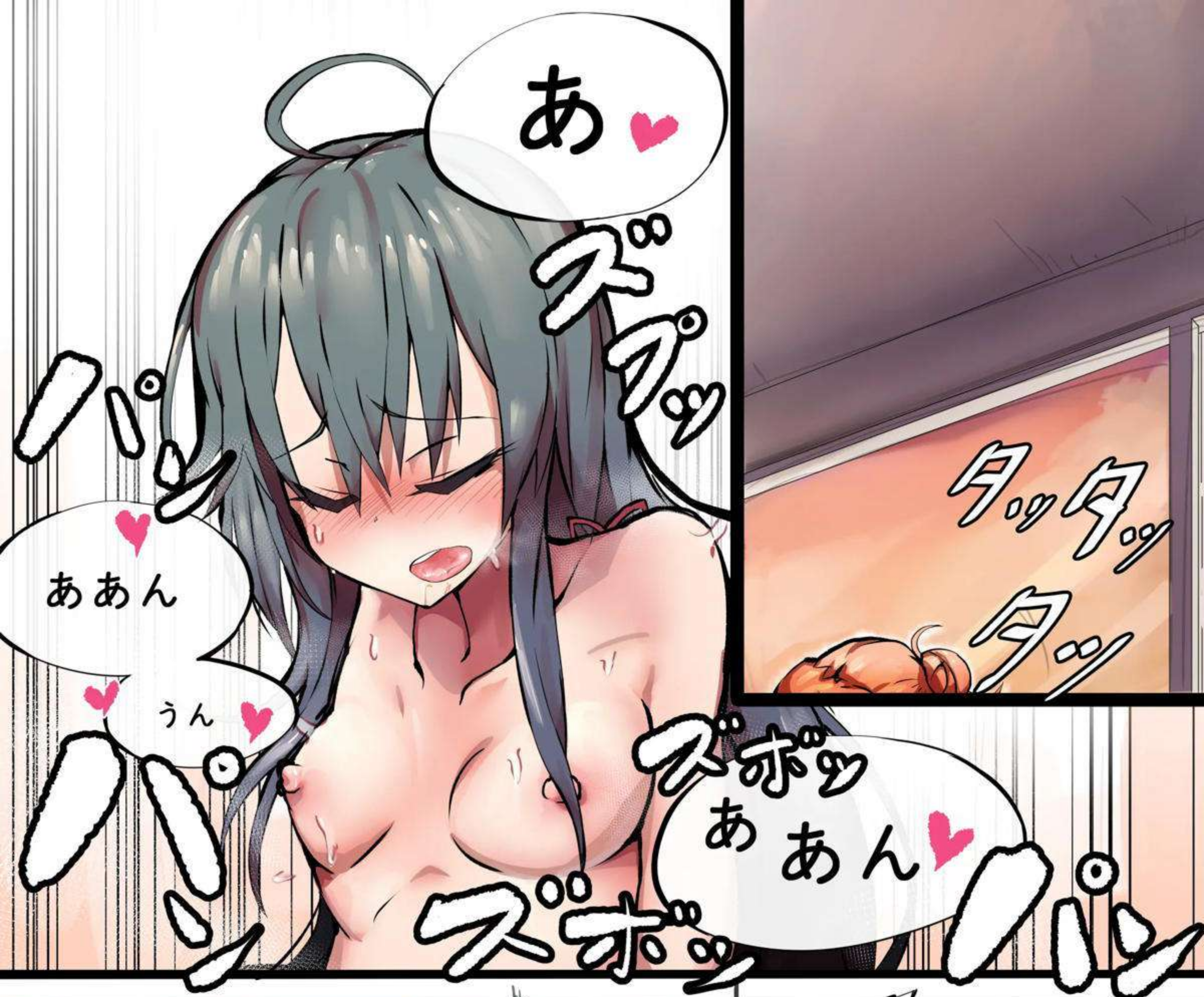
執拗な舌と性感帯攻めで
もう抵抗すらできない彼女の体は
あらい呼吸しか出せなくなった
きっとメスの顔をしているだろう。



溶けてる顔で
俺を見上げる
いろはの...









こゝは

うんおっ?!



由比ヶ浜

ス〇〇〇

さん



雪乃...

ちゃん?



雪乃ちゃん

違うの
由比ヶ浜さん

これはああん
だからあつつ



見てりゅ

ちょほっ

あん

これは



私も

混ぜて？



おお?!

おおっく

うんほお

ズバッ

ズバッ
ズバッ



ちゅ

ちよ... るゆきのん?!

ちゅ

さっき 行ったばかり

ちゅ

ちゅ

うんおおおつ

ちゅ



お

うぐっ

あん

ちゅ

ちゅ



んんん

ちゅ





ふぶう

うんごお

ふう

わろ

わろ
わろ

へーろ

うんちゅう



うんぐ

じゅっ

ごぶっつ

じゅっ
ごぶっ



夜になっても



あ♡
あん♡

ちゅるる♡

ちゅるる♡

奉仕部の鍵は
返納されない